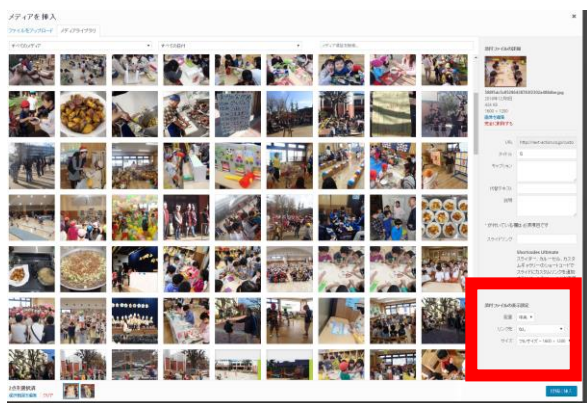


WordPressの画像を思い通りに表示させるコツ

1. 画像の設定方法

WordPressの画像を思い通りに表示させるためには、**添付ファイルの表示設定**で設定を行います。
添付ファイルの表示設定は、メディア挿入時の画面（下図の赤枠内）にあります。



※メディア挿入についての詳細は別紙「」

1-1. 配置

『配置』では、画像をコンテンツエリアのどの位置に配置するかを決めます。

- 左：画面の左側に配置（文章は右に回り込み）
- 中央：画面中央に配置
- 右：画面の右側に配置（文章は左に回り込み）
- なし：指定をしない

1-2. リンク先

『リンク先』では、画像をクリックした場合の動作を指定することができます。

- メディアファイル：リンク先が画像になります。別ウィンドウで画像を表示するにはここでメディアファイルを設定します。
- 添付ファイルのページ：この画像が貼られているページにリンクされます。不便なので使いません。
- カスタム URL：画像以外のリンクさせたい場合に使います。リンク先の URL を入力します。
- なし：画像にリンクを貼る必要がない場合や別ウィンドウで表示させない場合はなしにしてください。

1-3. サイズ

『サイズ』では、表示させる画像の大きさを指定することができます。

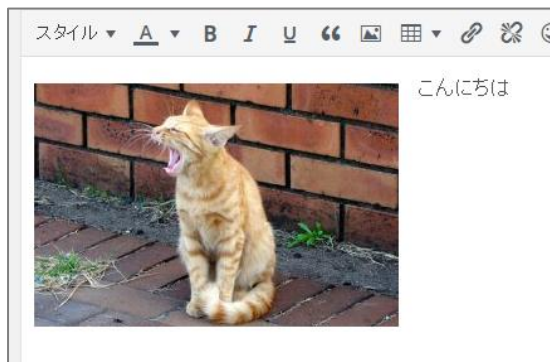
- サムネイル：一番小さな画像です（通常 150×150）。証明写真位の大きさです。
- 中：主に、画像を並べる場合に使います。
- 大：画像を画面一杯に表示させたい場合に使います（元々の画像より大きく表示されることはありません）
- フルサイズ：元々の画像の大きさです。通常画面からはみ出ることはありません。

2. 【重要】必ず回り込み解除を行ってください

配置の設定で、『なし』以外を選んだ場合は、画像に続けて書いた文字や、次に挿入した画像が続けて表示されます。

(これを『回り込み』と呼びます。) 回り込みの解除を正しく行わないと、段ずれをおこす場合があります。

回り込み解除のコマンドを入れると、回り込みが解除されます。



文字が回り込みされた場合



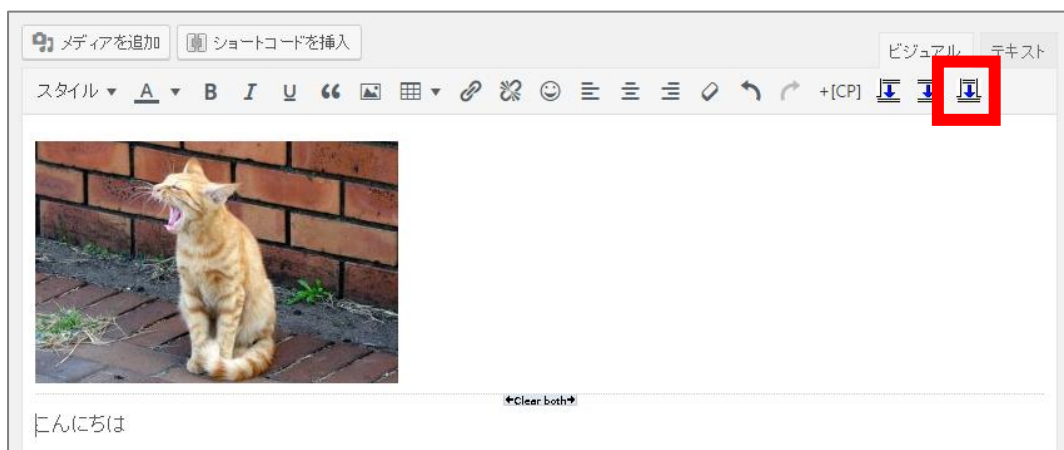
回り込みを解除した場合

★回り込み解除の方法

ビジュアルエディターの画面、コンテンツ入力画面の上部のアイコンメニュー右側（下図赤枠）のボタンを押してください。

下の図のように画像の下側に点線が引かれたら OK です。

テキストでは、<div style="clear:both;"></div>というコマンドが入力されています。



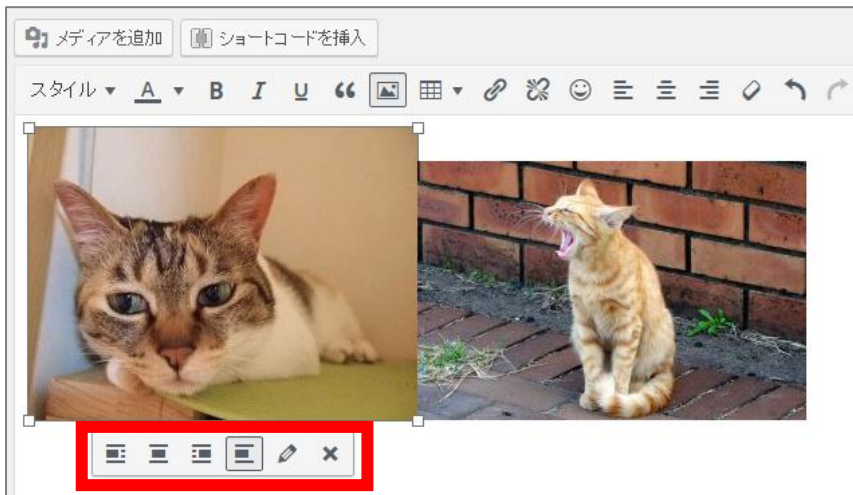
3. 後から画像の設定を編集する方法

画像を設置した後でも画像の設定を変える事ができます。

ビジュアルエディターで対象の画像をクリックすると画像の付近に下図（赤枠内）のようなメニューが現れます。

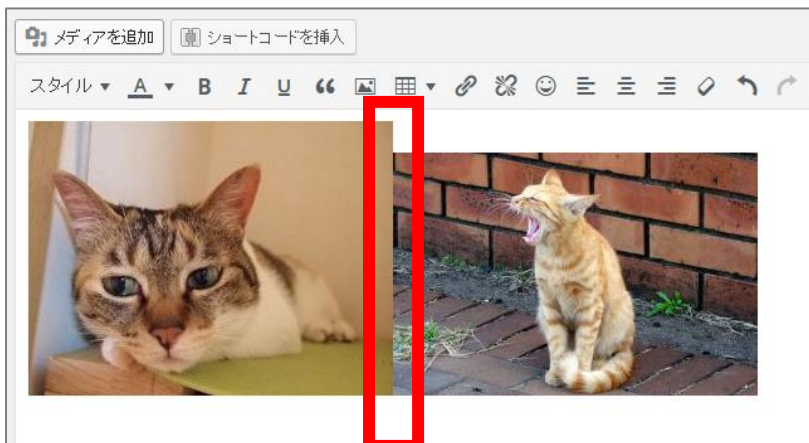
配置を変える事や、鉛筆のアイコンをクリックすることでリンク先やサイズなどの変更が行えます。

『×』をクリックすると対象画像が削除されます。



4. 画像を横に並べるには

画像を横に並べるには、画像と画像をぴったりとつけて挿入します。テキストエディターでは、ソースコードとソースコードの間に空白や改行を含めなければ画像を横並びに配置させることができます。



5. 画像と画像のギャップについて

画像と画像のギャップは、自動的に少しだけ隙間が空くように設定されています。

スペース（空白）を入れたり改行したりして意図的に隙間を開けると正しく配置されない場合があるのでお勧めしません。

以上です